

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人

四国中央市社会福祉協議会

四国中央市社会福祉協議会では、「第2次四国中央市地域福祉活動計画」5年目の社会福祉事業を実施するとともに、社会福祉法人制度改革への対応や第3次地域福祉活動計画の策定に取り組み、誰もが安心して暮らすことができる福祉でまちづくりの推進に努めた。

(基本理念)

みんなですすめる 福祉で笑顔のまちづくり

(基本目標・重点方針)

【1】住民主体の地域福祉活動をすすめ、たすけあいの風土をつくります

- 1 地区社協活動の充実
- 2 小地域ネットワーク活動の推進
- 3 福祉関係団体等への支援
- 4 健康と生きがいつくりの推進

【2】住民参加のもとに福祉意識の啓発とボランティアの支援・育成を推進します

- 1 ボランティアセンターの運営
- 2 災害ボランティア活動支援体制の整備
- 3 福祉教育の推進
- 4 ボランティアの育成・活動支援

【3】住民の権利を擁護し、地域総合相談・支援のしくみづくりを進めるとともに、啓発・研修事業を推進します

- 1 地域福祉権利擁護事業の推進
- 2 地域総合相談・援助活動の実施
- 3 調査・企画・広報活動の推進

【4】生活の質を高め安心を支える在宅福祉サービスを推進します

- 1 訪問介護サービス
- 2 通所介護サービス
- 3 相談支援サービス
- 4 地域生活支援サービス

【5】住民主体の地域福祉活動を推進するため社会福祉協議会の基盤を整備します

- 1 拠点の整備
- 2 組織体制の強化
- 3 財源の確保
- 4 社協経営改善の推進
- 5 第3次地域福祉活動計画（2017～2021年）の策定

【1】住民主体の地域福祉活動、たすけあいの風土づくり

【1】－1 地区社協活動の充実

住民の生活に身近な地域福祉をすすめるため、20地区社協活動の充実を支援し、メニュー事業の推進やコミュニティワークの実施を通じて、住みよい地域づくりに努めた。

① 20地区社協活動の支援と協働

- 各ブロック会長会、地区社協理事会等において、市社協と地区社協の連携強化を図った。
- 地区社協活動要覧の作成。
(内容) 社会福祉協議会の活動
四国中央市20地区の概況
20地区社協の活動紹介
主な社会資源
250部作成 (A4判60ページ)

② メニュー事業の推進

○地区社協活動のレベルアップを図るため、メニュー6事業を推進した。

実施状況	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
ふれあいのつどい	17地区	17地区	18地区	17地区	17地区
三世代交流事業	19地区	19地区	17地区	18地区	17地区
友愛訪問	18地区	18地区	18地区	17地区	17地区
住民座談会	20地区	2地区	1地区	3地区	3地区
ふれあい交流大会	13地区	14地区	13地区	14地区	13地区
すみよいまちづくり事業	19地区	17地区	16地区	16地区	16地区
助成経費合計(円)	3,214,088	2,941,634	2,841,524	2,871,347	2,874,500

③ 地域組織との連携強化

- 地区社協を核として、地域の民生児童委員、自治会、広報委員、福祉関係団体等との連携を強化した。
- 地域団体や広報委員、自治会等と連携し社協会員の推進を行った。
- 赤い羽根共同募金運動への協力。 10月1日～12月31日
- 歳末たすけあい募金運動への協力。 12月1日～12月31日

【1】－2 小地域ネットワーク活動の推進

小地域における住民ニーズや要援護者の生活をネットワークで支えることに努めた。ひとり暮らし高齢者の定期的な安否確認、子育て家庭同士の助け合い活動、ちょっとした困りごとへの住民互助による地域生活応援活動を推進した。

① 独居高齢者福祉ネットワーク事業の推進 (市委託事業)

- 地域の高齢者を把握し、対象者の状況に応じた訪問及び電話連絡等による見守り活動を実施した。中でも、親戚・近隣住民との交流がなく、家に閉じこもりがちで、公的福祉サービスを受けていない援護を必要とする高齢者の見回り、安否確認を実施。(最低月1回の訪問)
- 見守り推進員 198名 (市長委嘱)
- 見守り対象 原則として70歳以上の独居高齢者。但し、援護を必要とする場

合は65歳以上70歳未満の方も対象とする。

○ネットワーク連絡会 15地区民協単位に民生児童委員とのネットワーク連絡会を開催。

②ファミリーサポートセンターの運営（市委託事業）

○子育ての援助が必要な人（依頼会員）と子育ての援助を行える人（援助会員）の相互援助活動を展開し、子どもの一時預かりや保育所等への送迎など、仕事と子育ての両立、家庭の育児支援を推進した。

○会員総数 ※平成28年度新規登録会員数／15名

	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
依頼会員	259名	247名	248名	252名	229名
援助会員	68名	68名	73名	71名	71名
両方会員	22名	21名	21名	21名	22名
計	349名	336名	342名	344名	322名

○活動状況

	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
活動累計回数	1452	864	1,450	1,248	1,082
累計時間(約)	692	491	742	755	796

○研修会及び交流会の実施。

①基礎研修（ビデオ研修）※随時実施（19回）

②10月25日（日） 四国中央市福祉会館

「子育てが楽になる!!勇気づけ講座」参加者21人

③10月30日（日） 伊予三島運動公園体育館

「子育てフェスタ」

○事前打合せの実施。（16回）

○広報活動の実施。

①機関紙「社協だより」に掲載

②説明会の開催

③その他（チラシ・案内配布、ポスター掲示など）

③住民互助型生活支援サービスの推進

○地域における住民の生活ニーズやちょっとした困りごとの相談に応じ、必要なサービスや支援に繋げるとともに、既存の制度や社会資源で対応できない、制度の狭間にある生活ニーズ等に対し、地域の福祉協力者（愛ネットさん）による応援活動を展開した。ニーズの充足とともに、地域の福祉意識の向上や住民互助力を醸成し、お互いの暮らしを支え合うことができる“あたたかい地域づくり”の推進に努めた。

○応援体制・状況

	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
愛ネットさん登録者数	87名	95名	98名	99名	103名
利用者問い合わせ件数	56件	42件	127件	179件	179件
活動延べ利用回数	137回	229回	271回	275回	292回
延べ利用・活動時間	229.5	362	416	441.5	505.5
実利用者数	10名	19名	24名	25名	33名
実活動者数	6名	11名	13名	16名	20名

○主な活動内容

	H28年度	H27年度	H26年度
調理（食事の支度・後片付け）	3	9	1
衣類の洗濯、補修	0	2	1
住居等の掃除・整理整頓・ゴミ出し	104	138	162
生活必需品の買物	0	0	2
薬の受取り	4	0	1

入院・退院時の身支度・買物・洗濯等	0	0	6
庭の手入れ、草とり、剪定	19	18	19
墓参り、墓掃除	7	5	6
買物の付き添い・同行	0	5	1
外出支援	19	33	59
生きがい援助活動（話し相手等）	0	28	14

○愛ネットワーク啓発・講演会

- ・7月9日(土) 13:30～15:30 (福社会館4階ホール)
- ・「地域づくりは安心づくり」～愛ネットと地域のこれからを考える～
講師 (社)リエゾン地域福祉研究所 代表理事 丸山法子氏
- ・参加者 80人

【1】－3 福祉関係団体等への支援

民生児童委員協議会、共同募金会支会の運営を支援し、民生児童委員との連携活動及び住民たすけあいによる地域福祉財源の確保に努めた。また、関係団体への支援や各種貸出事業等により、地域福祉の活性化を促進した。

①民生児童委員活動との連携

- 市民協の事務局業務(月1回役員会等を通しての運営支援・事業推進、会計経理、事務処理、連絡調整等)及び3専門委員会活動の支援。
- 総会 平成28年5月17日(火) (出席184名)
- 地区担当制による4ブロック民協、15地区民協活動の支援。
- 重点活動項目
 - ①民生児童委員活動の推進・強化
 - ②災害時要援護者支援に関する活動の推進
 - ③児童委員・主任児童委員活動の積極的推進
 - ④生活支援活動の強化推進

②共同募金活動の推進

- 愛媛県共同募金会四国中央市支会運営委員会の開催。(3回)
 - ・5月27日(金) 13:30～保健センター1階集団検診室
 - ・8月23日(火) 10:00～福社会館4階多目的ホール
 - ・3月16日(木) 14:00～保健センター1階集団検診室
- 共同募金運動啓発活動の実施。(市社会福祉大会において募金活動)
 - とき 平成28年10月1日(土)
 - 場所 土居文化会館(ユウホール)
- 赤い羽根共同募金運動 10月1日～12月31日 **【別紙1】**

	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
募金実績額	15,354,842	15,613,403	15,821,246	16,046,003	16,185,124

- 歳末たすけあい募金運動 12月1日～12月31日 **【別紙2】**

	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
募金実績額	6,745,400	6,955,577	6,981,220	7,106,873	7,143,900

- 社協配分事業実績額 **【別紙3】 【別紙4】**

	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
共同募金配分	11,233,933	13,299,576	13,549,883	13,382,808	12,916,385
歳末たすけあい	5,294,827	5,554,693	5,410,107	3,565,000	3,630,000

③福祉用具等貸与・リサイクル事業の実施

- 車椅子の貸与。

- ・貸出期間は原則10日以内(特別な事情の場合1カ月)、無料、在宅利用に限る
 - ・28年度貸出件数 171件(本所54、川之江96、土居21、新宮0)
 - ・保有台数58台(本所13、川之江17、土居26、新宮2)
 - ・主な利用内容 介護保険・障害福祉制度申請中、けが、外出、旅行など
- リサイクル事業。(社協だよりに掲載)
- ・提供者:33件(車椅子9、ベッド7、ポータブルトイレ6、シルバーカー9、シャワーチェア2)
 - ・希望者:26件(車椅子9、ベッド4、ポータブルトイレ4、シルバーカー7、歩行器2)
 - ・マッチング件数:12件(車椅子5、ベッド2、シルバーカー3、ポータブルトイレ2)

④マイクロバス貸与事業の実施

○ボランティアや福祉関係団体等の研修や交流活動の支援。(運転者登録:45名)

マイクロバス年間利用件数	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
1号車	106	114	120	103	125
2号車 (月～金市老人福祉センター使用)			市へ譲渡	22	23
3号車	114	114	119	88	104
4号車／リフト付	42	41	40	31	45
5号車／リフト付 (月～金は土居憩いの湯使用)	32	25	18	24	21

⑤ボランティア機器貸与事業の実施

○社会活動の発展を促進し、地域活動やボランティア活動等への支援。

年間利用状況 機器名称	H28年度		H27年度		H26年度		H25年度		H24年度	
	保有	件数	保有	件数	保有	件数	保有	件数	保有	件数
綿菓子機	0	0	6	45	6	53	6	40	6	50
ポップコーン機	2	28	2	27	2	31	2	10	1	13
お好み焼き鉄板	2	26	2	27	2	24	2	22	2	32
たこ焼き機	1	1	1	5	1	6	1	2	1	1
かき氷機	2	27	2	22	2	17	2	21	2	23
焼き鳥機	1	5	1	5	1	4	1	5	1	3
とうもろこし機	1	3	1	2	1	2	1	0	1	1

【1】－4 健康と生きがいづくりの推進

住民誰もが健康でその人らしく生き生きと、安心して生活をおくっていただけるように、身近な地域での居場所づくりや生きがいづくりを推進した。お互いに支え合い、助け合っている、人づくりや仕組みづくりの推進に努めた。

①ふれあい・いきいきサロン活動の充実

○小地域を拠点に地域住民である高齢者・障がい者・子育て中の親等とボランティアとが協働で企画し、ともに運営していく楽しい仲間づくり活動、地域住民同士の自発的な支え合い活動、健康・生きがいづくり、介護予防活動等を推進した。

○サロン活動状況

	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
サロン数	205	212	218	224	228
主な対象	高齢者	200	207	213	223
	子育て	2	2	2	2

内訳	精神障がい者	1	1	1	1	1
	聴覚障がい者	2	2	2	2	2
年間推移	新規立ち上げ	3	2	3	0	3
	閉鎖	10	8	9	4	5
参加者総数		2,261	2,374	2,503	2,541	2,721
お世話人総数		941名	1,046名	1,067名	1,115名	1,151名

○お世話人研修会・交流会の開催。(②については、市内3会場で開催)

①講習・実演 「災害に備えて～避難所で心地よく生活するために～身近なもので工夫できること」

(7/14) 参加者総数 134名

②講演『特殊詐欺被害防止』『交通事故防止』

寸劇 『特殊詐欺被害にあわないために』

講習 「今日から始める『HAPPY終活』のススメ」

(2/24・2/26・2/27) 参加者総数 202名

○サロン通信の発行(6月、10月、1月)※各サロンに3部送付。

○機関紙「社協だより」への記事掲載による広報支援。(3回)

○サロン立ち上げ等に関する個別相談の実施。

○訪問活動の実施。

○ボランティアや各種機関の職員等の紹介や派遣、連絡調整。

○レクリエーション用具・ボランティア機器の貸出。(延べ6件)

○マイクロバスの貸出。(延べ62件)

○保険の加入促進。

①ふれあいサロン・社協行事傷害補償(参加者)／延べ29,641名加入

②ボランティア活動保険(お世話人)／842名加入

※事故報告(保険金請求)・・・0件

○サロン助成事業実施要綱施行。

※立ち上げ助成金50,000円(新規立ち上げ2カ所)

②常設型サロン創設の推進

○空き店舗や民家等を改修・利用し、地域の高齢者や障がい者、子育て中の親、子どもなど誰もが、いつでも気軽に立ち寄り、くつろぐことができる交流の拠点・居場所づくりを促進し、初の立ち上げに至った。

○候補物件情報や相談・問合せ件数…1件

○ふれあい・いきいきサロン常設型サロン助成事業実施要領施行。

※立ち上げ助成金200,000円

○「ふれあいサロンあいあい北野」開所式 平成28年4月10日(日)

○「あいあい北野」視察受入れ…三崎地区社協/砥部町社協/サロン宮の谷

○設置要件 ①必要性の確認 ②拠点確保 ③近隣住民の協力 ④リーダーの発掘
⑤拠点となる設備の改修と運営経費の確保

○機関紙「社協だより」への記事掲載による広報支援。(2回)

○設置形態の検討 ①住民参加型常設サロン ②小規模多機能型居宅介護事業

③家族介護者交流事業の推進(市委託事業)

○認知症や寝たきり等の状態にある高齢者等を在宅で介護している家族を対象に、介護等に関する情報を共有できる場を提供するため、講演会を開催した。

期日：10月1日(土) 14時40分～16時00分

場所：土居文化会館(ユーホール)

内容：講演「あした、笑顔になあれ・・・夜回り先生いのちの授業」

講師 教育評論家 水谷 修さん

【2】住民参加・福祉意識の啓発、ボランティアの支援・育成の推進

【2】－1 ボランティアセンターの運営（市指定管理事業）

住民が福祉に関する関心を高め、地域でのボランティア市民活動がより活発にすすめられるように、相談を受けたり、ボランティアを紹介したり、各種の研修や交流会を開催するなど、市民参加と協働による福祉社会の創造に努めた。（ボランティア市民活動センター）

①ボランティア情報の収集と提供

○情報の収集。

- ・愛媛ボランティアネット、愛媛県社会福祉協議会、財団等からの助成金情報、ボランティア・イベント情報等に関するパンフレット等の収集

○情報の提供。

- ・センターでの掲示(掲示板、陳列台、パンフレット台等を活用)
- ・社協だよりに掲載して提供(年間8回)
- ・専用ホームページにて公開・提供、随時更新
- ・地域活動支援センターでの作品等展示・販売するスペース提供

②ボランティア相談窓口の設置

- ボランティア活動に関する各種相談・需給調整を実施。（※利用状況表参照）
- コーディネーター研修への参加等を通し、相談窓口業務の充実を図った。
- 社協各支所と連携・協力した窓口対応を実施。

③広報・啓発活動

○「社協だより」による広報・啓発。

- ・ボランティア市民活動センターの開所・活動状況
- ・イベント情報・登録者の活動状況の紹介等

○「市報」への記事等の掲載。（講演会・開講講座等／必要都度）

○その他

- ・各種窓口へのポスター掲示・チラシ配布
- ・登録団体・個人登録者への案内状・チラシ送付等
- ・ホームページによる広報活動・助成金情報等提供
- ・ボランティア市民活動センター掲示スペースの活用
- ・パンフレット・冊子を常時、展示・提供
- ・登録団体別ファイル作成

④人材の育成と養成

○ボランティア市民活動研修会の開催。

回	月／日	内 容 ・ 講 師	参加人数
1	7／14(木)	ボランティア活動の基本 四国中央医療福祉総合学院 藤田英樹 氏	12
2	7／21(木)	未来に繋がる地域づくり 四国中央市LOHAS倶楽部 川上喜八郎 氏	13
3	7／28(木)	ボランティアグループから法人へ NPO法人カノン 寶利佳代 氏	19

4	8 / 4 (木)	地域課題解決に向けて 愛媛大学 教授 前田 眞 氏	1 2
5	8 / 2 5 (火)	起業・NPOの活動 NPO法人えひめリソースセンター 泉谷昇 氏	1 0
●会場：四国中央市福祉会館 1階 ●時間：13:30～15:30			6 6 (申込) 9 4

⑤ ボランティアの交流とネットワークの促進

- 登録ボランティアグループ・ファイルの整備。
- 「ボランティア発！講演会」の開催。
 - ・9月10日(土) 福祉会館 参加者56名
- 「ボランティア市民活動交流会」の開催。
 - ・1月29日(日) 福祉会館 参加28団体(96名) 個人登録12名
計108名
 - ・プレゼンテーション6団体、物品販売等9団体

(ボランティア市民活動センター利用状況)

活 動 状 況	機材等使用状況	
	H28年度	H27年度
個人登録者数	111人	97人
団体登録数	165団体	152団体
	6,231人	6,143人
マッチング件数	376件	243件
来所者数	1,201人	*1,147人
電話受付数	1,985件	*1,377件
メール受付数	66件	*143件
施設等利用数	1,169件	1,507件
ファックス	67件	55件
郵便	2,057件	1,234件
訪問	83件	55件

* 部屋の予約, 開館-機器の利用等事務的問合わせ, 納品-修理, 挨拶, 内部連絡等除く

⑥ ボランティア活動に関する調査研究

- 各関係機関との協力による市民活動等に対する意識啓発。
- ボランティアや職員の取り組む姿勢のあり方を研究。

⑦ ボランティアへの場所・設備の提供

- 休日の開所、場所の利便性、公共性を利用した、イベント等の問合せ等に活用。
- 貸出機器、設備の充実化。

⑧ 災害ボランティアの育成

- 災害ボランティア活動研修会の開催。
 - ・3月10日(金) 市福祉会館4階 参加者 約130名
内 容 「災害対応カードゲーム(クロスロードゲーム)」
アドバイザー NPO法人ひうちなだ(燧灘防災会)

【2】－2 災害ボランティア活動支援体制の整備

災害時において、被災者の一日も早い生活再建を進めるために、平常時から市との連携や災害ボランティアセンター立ち上げに関する体制整備を行い、住民・関係機関との連携・協働体制の確立に努めた。

①関係機関・団体等との協働体制の確立

- 消防本部（安全・危機管理課）、市民環境部（市民交流課）との連携強化。
- 愛媛県・市町社協における災害時支援協定に基づく県社協との連携。

②災害ボランティアセンターの設置・運営

- 災害ボランティアセンター設置時の社協職員の配置及び役割の確認を行った。
- 熊本地震災害において、県社協の要請による嘉島町ボランティアセンターの運営支援。

③災害ボランティア研修の実施

- 愛媛県総合防災訓練（9月4日）へ参加。
- 県社協が主催する災害ボランティアセンター中核スタッフ養成研修に参加。

④資機材等の確保・管理

- 資機材（テント、炊き出し器、一輪車、スcoop等）の確保、管理。

⑤指針・マニュアルの整備と見直し

- 災害発生時の社協職員の召集及び配備体制等の確認。

【2】－3 福祉教育の推進

共に生きる福祉社会の創造をめざし、地域における住民の福祉学習や体験活動を推進し、福祉意識の向上、思いやりの心の醸成、地域福祉活動の活性化に努めた。

①福祉学習の推進

- 福祉協力校の指定。
 - ・市内3高校、6中学校、1小中一貫校、18小学校を福祉協力校に指定し、児童生徒の福祉活動に対する援助を実施した。（助成金額1,037,000円）

【2】－4 ボランティアの育成・活動支援

地域において援助が必要な人への理解をもち支援するボランティアの育成、団体等への助成を行い、ボランティア活動の普及と地域づくりを支援した。

①福祉教室の実施

- 手話教室の開催。
 - ・川之江会場 5月11日～6月15日（昼・夜）／12回
／受講者 7名（前年度 4名）
 - ・三島会場 7月8日～8月12日／6回／受講者 8名（前年度 4名）
 - ・土居会場 7月26日～8月30日／6回／受講者 3名（前年度 7名）
- 点字教室の開催。
 - ・川之江会場 6月26日～9月10日／6回／受講者 4名（前年度 0名）
 - ・三島会場 6月2日～7月7日／6回／受講者 15名（前年度 7名）
- 朗読教室の開催。

- ・本所会場 9月13日～10月25日／7回／受講者11名（前年度11名）
- 傾聴ボランティア教室の開催
 - ・本所会場 9月1日～10月20日／6回／受講者8名（前年度17名）
- 要約筆記教室の開催。
 - ・川之江会場 8月2日～9月17日／6回／受講者2名（前年度7名）

② ボランティア活動助成事業の実施

- 福祉のまちづくり助成事業の実施。

	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
助成団体数	49	48	44	40	37
助成金総額(円)	1,800,000	1,800,000	1,800,000	1,400,000	1,206,000

③ ボランティア保険の加入促進

- ボランティア活動保険加入者数 2,534名（前年度2,619名）
- ボランティア行事用保険加入者数 2,201名（前年度2,435名）

④ 点字・声の広報等発行事業の実施（市委託事業）

- 点字広報等の発行事業の実施。
 - ・ボランティアグループ点字やすらぎ会により毎月発行（8名分）
- 声の広報等の発行事業の実施
 - ・朗読やすらぎ会 毎月CD10本、テープ2本吹き込み（12名分）
 - ・川之江朗読奉仕会 毎月CD8本、テープ2本吹き込み（10名分）
 - ・朗読サークルつゆくさの会 毎月CD2本、テープ1本吹き込み（3名分）
（1名分+図書館）

【3】住民の権利擁護、地域総合相談・支援、啓発・研修事業の推進

【3】-1 地域福祉権利擁護事業の推進

高齢になっても、障がいがあっても、地域から排除されず、必要なサービスや支援を確保して、その人らしい「地域自立生活」が営めるよう、住民の権利擁護の支援、法人後見事業の推進に努めた。

① 福祉サービス利用援助事業の推進

- 認知症や知的又は精神に障がいのある方など、判断能力が不十分で、かつ親族などの援助が得られない方に対して、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理についての支援を行った。

		H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
サービス契約者数		25	19	14	12	4
地区 内訳	川之江	8	7	3	2	2
	三島	12	8	8	8	2
	土居	4	3	1	0	0
	新宮	1	1	2	2	0
新規契約者数		8	9	9	8	1
解約者数		2	4	0	0	3

○サービスを提供する生活支援員を市内に4名配置。

- ・内訳 川之江1、三島1、土居1、新宮1

②法人後見事業の実施

○認知症や知的障がい、精神障がいなどの理由により判断能力が不十分で、近くに身寄りがなく或いは低所得の方について、家庭裁判所の審理、選任により、社協が法人後見人となり本人の生活支援を行っている。本人が社会的不利益をこうむったり悪質商法の被害者となること等を防ぎ、権利と財産を守るための支援を年間に渡り継続的に実施した。

- ・財産管理(預貯金や不動産の管理等)
- ・身上監護(介護・福祉サービスの利用契約や施設入所手続き、費用支払い等)

		H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
受任件数		4	4	4	4	3
類型 内訳	後見	3	2	2	2	1
	保佐	0	1	1	1	1
	補助	1	1	1	1	1
新規受任数		1	0	0	1	1
解約者数		1	—	—	—	—
制度利用相談援助件数		3	2	9	5	9

【3】－2 地域総合相談・援助活動の充実

住民が、身近なところで必要な支援を受け、社会とのつながりを持ちながら、住み慣れた地域で暮らし続けられるように、総合相談・生活支援を実施するとともに、住民と専門職等関係機関・団体との連携による援助活動を推進した。

①専門相談の実施（市委託事業）

○法律相談の実施（相談員：弁護士5名）

- ・本所（基準：毎月10日・20日）
- ・川之江支所（基準：毎月第1・3水曜日）
- ・土居支所（基準：毎月第4水曜日）
- ・新宮支所（年2回 5/26、10/27）

○司法書士相談の実施（相談員：司法書士14名）

- ・本所（基準：毎月5日）
- ・川之江支所（基準：毎月第2水曜日）
- ・土居支所〔基準：隔月（奇数月）第3水曜日〕
- ・新宮支所〔年1回 2/23〕

○相談件数

場 所		H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
法律相談	本所	156	186	191	175	152
	川之江支所	176	185	154	189	176
	土居支所	58	64	54	46	58
	新宮支所	1	5	2	5	4
	計	394	440	401	415	390
司法書士 相 談	本所	41	57	47	59	56
	川之江支所	44	53	45	49	55
	土居支所	14	20	17	12	5
	新宮支所		1			
	計	99	131	109	120	116
合 計		493	571	510	535	506

②地域総合相談・生活支援の実施

- 一般相談の実施…暮らしの中での心配ごとや悩みごとの相談に社協職員が応じ、助言を行うとともに、必要な場合には解決のために専門機関を紹介した。
- 生活福祉資金貸付制度(愛媛県社協事務委託事業)に基づく相談や支援等を行うことにより、経済的自立や在宅福祉・社会参加の助長促進を図った。
- 生活困窮者自立支援法に基づく事業と連携し、効果的な支援を実施した。
- 生活困窮者自立相談支援事業の実施(生活相談支援センター/市委託事業)
(包括的・継続的な相談支援の実施)

・相談受付からアセスメント・プランの策定、自立生活支援活動の実施

		H28年度	H27年度
○相談件数 (来所・電話等)	男	83	104
	女	80	81
	不明	2	6
	計	165	191
○相談経路	本人・家族等	56	78
	関係機関、他	109	113
○プラン作成件数		65	47
○支援調整会議開催回数		11回	9回
○運営協議会開催回数		1回	1回
○相談内容(重複あり)		(1,484)	(1,487)
① 病気、健康、障害		314	329
② 住まい		182	248
③ 収入・生活費		409	482
④ 家賃、ローン支払い		18	13
⑤ 税金、公共料金の支払い		28	10
⑥ 債務		35	13
⑦ 仕事探し、就職		171	134
⑧ 仕事上の不安やトラブル		36	39
⑨ 地域との関係		3	16
⑩ 家族との関係		38	53
⑪ 子育て		8	4
⑫ 介護		27	6
⑬ ひきこもり・不登校		9	1
⑭ DV・虐待		3	8
⑮ 食べるものがない		98	66
⑯ その他		105	65
○年度3月末利用者数		32	43
●生活保護申請に繋げたケース数		28	17
●社協生活福祉資金貸付相談		23(決定10)	20(決定5)
●緊急食糧支援実施件数		30(延べ68)	34(延べ87)
●生活保護受給者等就労自立促進事業参加者		4(4名就労)	5(3名就労)
●住居確保給付金利用者		2	0

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・歳末たすけあい募金要援護者支援（センター連携 12 世帯）・生活用品等支援件数 7 件 |
|---|

（生活困窮者支援を通じた地域づくり）

○平成 28 年度地域福祉講演会

『生活困窮者支援と地域づくり～住民参加と協働で、誰もが支え合う共生社会の実現へ～』

- ・ 8 月 1 2 日（金）15：00～16：50 ・福社会館 4 階
- ・ 講師 原田正樹氏（日本福祉大学教授）
- ・ 参加者；男性 6 8 名、女性 5 5 名 計 1 2 3 名

○法テラス愛媛勉強会（年間 5 回開催／講師：法テラス愛媛高橋宏典常勤弁護士）

- ・ 内 1 回公開講座『消費者法を知ろう！』（地域における支援者向けの講演会）
- ・ 1 月 2 5 日（水）13：00～15：30 ・市保健センター2 階
- ・ 参加者；約 3 0 名

○センターパンフレット配布（相談対象者・各関係機関・地域の会議等で配布）

○社会資源の開拓（地域支援サークル茶れんじと連携し畑仕事や調理、ボランティア活動を通じての居場所づくりや社会参加の機会を作る）

○関係研修会等への参加

- ・ 第 3 回生活困窮者自立支援全国研究交流大会『広範なプレーヤーと共に - 制度の見直し充実に向けて！-』1 1 月 1 2 日（土）1 3 日（日）；川崎市
- ・ 第 20 回こんぴら地域福祉セミナー等、各種講演・フォーラム・研修会に参加

③地域包括ケアシステムへの協力

○生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーターの配置／市委託事業）

- ・ 地域住民ニーズの把握、社会資源の調査・整理（報告書作成）
- ・ 担い手・人材の養成（アクティブシニア養成講座 4 回、1 1 名受講）
- ・ 関係者間の情報共有、サービス提供主体間の連携の体制づくり
- ・ 協議体運営への協力、生活支援体制の整備
（第一層・全市エリアの視点／地区担当ワーカーとの連携）

○市「地域ケア推進会議」への参加、活動協力。

- ・ 権利擁護連絡会議、地域ケア会議（個別、圏域）、介護予防連絡会議

○市「自立支援協議会」への参加、活動協力。

- ・ 権利擁護部会・地域移行部会・就労支援部会・生活支援部会・相談支援部会他

○社協職員（相談支援専門員、地区担当ワーカー、介護支援専門員、ケアワーカー等）によるソーシャルワークの展開。

【 3 】 - 3 調査・企画・広報活動の推進

地域福祉活動を進めるために、地域の要援護者の把握に努め、市及び民生児童委員と連携した支援活動に取り組むとともに、地域福祉に関するイベントや研修の企画、広報活動の充実を図り、福祉でまちづくりを推進した。

①福祉票整備・要援護者の支援

- 調査は民生委員に依頼して実施、事務局で名簿を整備・運用・管理を行った。
 - ・ 調査基準日平成 2 8 年 4 月 1 日
- 福祉票の活用。（地域福祉活動や個別援助活動を展開する際の貴重な基礎資料）

- ・民生児童委員と共有、市、消防署に提供し福祉事業等に活用
- ・民生児童委員の相談援助、地区社協と連携した生活支援活動等

②広報啓発活動の充実

- ホームページ、ブログの管理・運営。
 - ・社協の事業の報告やお知らせ等をホームページ、ブログに掲載することによる情報提供を行った。
- 社協だよりの発行。
 - [発行回数] 年8回（5・7・9・10・12・1・2・4月）
 - [発行日] 発行月の1日
 - [発行部数] 33, 500部（全戸配布）
 - [頁数] 4頁（全頁カラー印刷）※7月号のみ8頁

③社会福祉大会・福祉フェスティバルの開催

- 第13回 四国中央市社会福祉大会の開催。
 - ・日時 10月1日（土）13：30～16：00
 - ・場所 土居文化会館（ユウホール）
 - ・日程

13：15～13：30	オープニング
	NPO法人カノン
13：30～14：30	式典
14：40～16：00	記念講演・水谷修さん
	『あした笑顔になあれ・・・ 夜回り先生いのちの授業』
 - ・参加者 約500人

④福祉・介護研修事業の実施

- 介護予防教室（市委託事業）
 - （土居地域）「頭と体を使って介護予防教室」～コグニサイズのすすめ～
介護予防を目的として、体を使う運動課題と頭を働かせる認知課題を同時に行う「コグニサイズ」を取り入れることにより、健康増進等を図った。
 - ・期間 平成28年7月12日～平成29年3月31日
 - ・会場 土居地域の集会所等
 - ・実施回数 24回
 - ・参加者数 359人（実数）
 - （新宮地域）「歌って！遊んで！介護予防」～音楽レクリエーションのすすめ～
介護予防を目的として、音楽を使って体操や手・指先遊びを楽しく行う「音楽レクリエーション」を取り入れることにより、健康増進等を図った。
 - ・期間 平成28年7月12日～平成29年3月31日
 - ・会場 新宮地域の集会所等
 - ・実施回数 24回
 - ・参加者数 200人（実数）

【4】生活の質を高め安心を支える在宅福祉サービスの推進

【4】－1 訪問介護サービス

援護が必要な高齢者・障がい者宅へホームヘルパー（訪問介護員）が訪問し、必要な身体介護・生活援助・助言サービスを行い、日常の自立生活を支援した。

①訪問介護・予防訪問介護事業の実施

○訪問介護事業の実施。

- ・ホームヘルパーが居宅を訪問し、訪問介護計画に基づき、入浴・排泄・食事などの身体介護や調理・洗濯・掃除などの生活援助を行った。

	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
サービス提供責任者数	6名	7名	8名	11名	11名
訪問介護員数	37名	42名	54名	56名	60名
延べ訪問回数	13,253回	14,043回	17,135回	19,721回	18,733回
利用者数(年度3月末)	82名	92名	99名	114名	133名

※これまで兼務であった訪問介護事業と訪問入浴介護事業の介護職員を、平成28年度よりそれぞれ専従としたことにより、訪問介護員数が減少した。

○介護予防訪問介護事業の実施。

- ・ホームヘルパーが居宅を訪問し、介護予防訪問介護計画に基づき、利用者が自分で出来ることが増え、自立した日常生活が送れるよう、生活全般の指導、援助を行った。

	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
サービス提供責任者数	6名	7名	8名	11名	11名
訪問介護員数	37名	42名	54名	56名	60名
延べ訪問回数	4,248回	4,848回	4,988回	5,826回	7,209回
利用者数(年度3月末)	53名	62名	71名	75名	92名

②障害者居宅介護等事業の実施

○身体、知的、精神の3障がい及び障がいがある児童すべてに対応したサービスを実施した。また、重度訪問介護サービス、同行援護サービスを提供した。

	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	
サービス提供責任者数	6名	7名	8名	11名	11名	
訪問介護員数	37名	42名	54名	56名	60名	
延べ訪問回数	5,352回	6,141回	6,190回	7,666回	7,754回	
利用者数(年度3月末)	居宅介護	32名	32名	34名	34名	38名
	重度訪問介護	1名	1名	1名	1名	1名
	同行援護	9名	9名	10名	8名	7名

③移動支援事業の実施（市委託事業）

○視覚や身体に障がいのある方に対し、市が実施する地域生活支援事業を受託し、視覚、全身性ガイドヘルパーの資格を持つヘルパーを派遣し、移動介護を行った。

	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
サービス提供責任者数	6名	7名	8名	11名	11名
訪問介護員数	37名	42名	54名	56名	60名
延べ訪問回数	153回	177回	203回	126回	231回
利用者数(年度3月末)	4名	6名	9名	6名	6名

④訪問入浴・介護予防訪問入浴介護事業の実施

○訪問入浴介護事業の実施。

- ・看護師、介護職員の3名が、移動入浴車で居宅を訪問し、簡易浴槽を部屋に設置し、体調の確認(入浴前後)をして、入浴サービスを行った。

		H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
従事者	看護職員	4名	5名	6名	8名	10名
	介護職員	5名	44名	58名	62名	65名
延べ訪問回数		940回	1,060回	1,050回	994回	1,008回
利用者数(年度3月末)		14名	20名	22名	22名	20名

※これまで兼務であった訪問介護事業と訪問入浴介護事業の介護職員を、平成28年度よりそれぞれ専従とした。

○介護予防訪問入浴介護事業の実施。

・平成28年度該当者なし

⑤訪問入浴サービス事業の実施／障がい者（市委託事業）

○自宅で入浴が困難な障がい者に対し、入浴車で訪問し、入浴サービスを行った。

		H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
従事者	看護職員	4名	5名	6名	8名	10名
	介護職員	5名	44名	58名	62名	65名
延べ訪問回数		220回	225回	216回	89回	144回
利用者数(年度3月末)		2名	2名	2名	2名	1名

⑥有償サービスの実施

○介護保険や障害福祉サービス等で対象外となる身体介護や生活援助等のサービスを有償により提供した。

	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度
サービス提供責任者数	6名	7名	8名	11名
訪問介護員数	37名	40名	54名	56名
延べ訪問回数	61回	58回	120回	104回
利用者数(年度3月末)	7名	2名	3名	2名

【4】－2 通所介護サービス

センターにおいて高齢者等を送迎すると共に必要な介護・生活訓練・生きがい活動等を実施し、自立生活を支援した。

①地域密着型通所介護・介護予防通所介護事業の実施

○地域密着型通所介護事業の実施。

日常生活が不自由なお年よりや身体に障がいのある方が利用できる日帰りの介護サービスで介助付きの入浴、昼食、趣味活動、日常動作訓練などを実施した。

・営業日時 毎週5日（月曜日～金曜日）9：30～16：00

・実施場所 四国中央市新宮町50 新宮高齢者生活福祉センター

	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
利用者延人数	2,183名	1,936名	2,055名	1,920名	1,718名
月平均	182名	162名	171名	160名	143名
利用者数(年度3月末)	23名	22名	20名	26名	19名

○介護予防通所介護事業の実施

要支援1及び2の方を対象に新宮デイサービスセンター（定員18名）でサービスを提供した。

	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
利用者延人数	598名	1,001名	849名	1,125名	1,083名
月平均	50名	84名	71名	93名	90名

利用者数(年度3月末)	8名	13名	13名	14名	16名
-------------	----	-----	-----	-----	-----

②介護予防デイサービス事業の実施（市委託事業）

○市の特定高齢者施策で、ハイリスク者を対象とした介護予防デイサービス受託事業であるが、該当者がいなかったため、実施なし。

【4】－3 相談支援サービス

高齢者・障がい者等の相談に応じ、ニーズの把握・資源の調整等、ケアマネジメントにより安心して暮らせる在宅生活の支援に努めた。

①居宅介護・介護予防支援事業の実施

○居宅介護支援事業の実施。

介護支援専門員が利用者の心身の状況や環境をアセスメントし、本人や家族の希望をもとに、サービスの種類、内容や回数を定めた「居宅サービス計画」を作成し、安心して介護サービスを利用できるよう支援を行った。

	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
介護支援専門員	11名	12名	13名	12名	12名
利用者延人数	3,685名	3,829名	3,912名	3,917名	3,704名
利用者数(年度3月末)	287名	308名	319名	323名	321名

○介護予防支援事業の実施。（市委託事業）

介護認定で要支援と認定を受けた方のプランは、基本的には地域包括支援センターで作成するものであるが、その一部の方を受託し、介護予防支援計画を作成して、介護予防サービスを利用できるよう支援を行った。

	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
介護支援専門員	11名	12名	13名	12名	12名
利用者延人数	508名	566名	573名	690名	797名
利用者数(年度3月末)	41名	43名	49名	48名	60名

②要介護認定訪問調査受託事業の実施（市委託事業）

○市から依頼があった申請者の自宅に伺い、聞き取り調査を行った。

	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
調査員(介護支援専門員)	11名	12名	13名	12名	12名
月平均実績	32名	39名	39名	41件	42件

③指定相談支援事業の実施（一部・市委託事業）

○平成23年度より市の委託が加わり、翌年度からサービス利用計画の作成が本格的に始まった。障がい児者のあらゆる相談に応じ、本人の希望する生活の実現に向けて支援を行った。また、生活相談支援センターと連携した支援活動を実施。

○特定相談支援事業（基本事業／市委託、計画相談支援）

○障害児相談支援事業（18歳未満）

○一般相談支援事業（基本相談、地域移行支援・定着支援）

（特定・障害児・一般相談支援実施状況）

	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
サービス等利用計画数	122件	109件	90件	72件	44件
モニタリング数	88件	74件	88件	45件	32件
地域移行	0件	2件	0件	0件	—

地域定着		1件	1件	0件	0件	—
相談支援専門員	専任	1名	1名	1名	1名	1名
	兼務	1名	1名	1名	1名	1名
事務員（支援員）	常勤	1名	1名	1名	1名	1名
	パート	1名	1名	1名	1名	1名

【4】－4 地域生活支援サービス

地域・住民の福祉ニーズに対応した生活支援サービスを、住民・関係機関等との協力により実施した。

①地域活動支援センターの受託運営（市委託事業）

- 3か所の地域活動支援センター（通所者合計36名）を運営、創作的活動・生産活動を行うとともに日常生活訓練や社会との交流活動を実施した。
- 障がい者の身近な日中活動の場として、毎日の作業や生活訓練のほかに、県や市・社協の行事への参加、地域の人々との交流等ふれあいの輪を広げた。
- 個別支援計画に関する支援員の研修を実施するとともに、計画書の整備と社会生活力を高めるプログラムを活用し、通所者の自立支援に努めた。
- 新宮地区における障がい者の活動（茶れんじ）支援の動向等に合わせ、3センターの再編や新規事業（就労継続支援B型）の創設等について検討を行った。

センター名	あ お ぞ ら	コ コ ロ ン	し ゃ ぼ ん 玉
場 所	川之江文化センター	市自治会館内	土居福祉センター
通 所 者 数 (H29年3月末)	16名	10名	10名
作 業 内 容	○紙製品（折り紙・仏袋・箱折等）の成型、袋詰め ○マグネット製品の作成販売	○ウエスの製造販売 ○不織布の加工販売 ○内職（封筒・割り箸等の袋詰め・箱詰め等）	○紙加工（紙袋等紐通し他） ○内職（封筒・付箋紙の袋入れ）
生 活 訓 練	習字、買物、調理実習、木工工作、健康体操、音楽療法、年賀状作り等	カレンダー作り、習字、ココロン集会、就労支援等	調理実習、買物、習字、オカリナ鑑賞、ものづくり体験学習等
季 節 交 流 行 事	お花見会、七夕、紅葉狩り、クリスマス会、節分	お花見会、クリスマス会、節分、ひなまつり等	お花見会、夕涼み会、クリスマス会、新年会等
社 会 参 加 活 動	戸外活動、研修旅行、施設見学等	戸外活動・研修、路線バス・JR電車乗車訓練、施設見学等	戸外活動・研修、施設見学等
合 同 活 動 ・ 研 修	県障がい者スポーツ大会、市関連イベント、紙まつりバザー、市障がい者運動会、市産業祭バザー等への参加		
職 員 研 修 等	障がい福祉関係研修会への参加 個別支援計画等に関する支援員の研修を実施（毎月） 個別支援計画の作成、社会生活力向上プログラムの活用 3支援センター担当者連絡会の開催（毎月）		

②いこいの湯の運営（市委託事業）

- 土居老人憩の家において、高齢者の心身と生活の安定及び要介護状態への移行を予防するために、ふれあいや生きがいづくり活動を実施した。

○内容：送迎、入浴、会食、レクリエーション、生きがい活動、季節行事等。

	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
開所日数	237日	235日	238日	241日	240日
延利用人数	2,482名	2,640名	2,801名	2,557名	2,648名
1日平均約	11名	12名	11名	10名	11名
登録者(年度3月末)	73名	81名	83名	90名	95名

③生活支援ハウスの運営（市委託事業）

○新宮高齢者生活福祉センターにおいて、独立して生活することに不安のある単身または高齢者夫婦の入居者（自立若しくは要支援の人）に、生活全般の見守り、相談、連絡調整等の支援を行なった。

○平成29年3月末現在、女性1名が入居している。運営は行政が行い生活相談員1名については社協委託となっている。

④在宅連絡調整会の充実

○在宅福祉事業の効果的運営及びサービスの向上を図るため、事業別の調整会議を開催し、利用者の情報等を共有し、知識・技術の研鑽に努め、事業の円滑な実施に努めた。

- ・在宅福祉課サービス担当者会（毎月）
- ・訪問介護事業／サービス提供責任者会（随時）
- ・訪問介護事業／地区別連絡調整会（毎月）
- ・訪問入浴介護事業／連絡調整会（毎月）
- ・通所介護事業／連絡調整会（毎月）
- ・居宅介護支援事業／ケアマネ連絡会（毎週）

【5】社会福祉協議会の基盤整備

【5】－1 拠点の整備

①住民が利用しやすいスペース及び事務局活動拠点の確保

○四国中央市の施設を借用し、地区社協関係者、民生委員、ボランティア等の活動拠点としている。

○市の新庁舎建設計画、川之江文化センター耐震工事等の動向把握に努め、対応した。（川之江支所・あおぞらは3月下旬～川之江旧庁舎1階へ移転／1年間）

②IT機器の充実

○効率的な業務が行えるよう機器・ネットワークの整備・充実を図るとともに有効な活用方法等について研究を進めた。

○マイナンバー制度に対応するためのセキュリティー対応について研究を進めた。

【5】－2 組織体制の強化

①役職員の資質の向上を図る研修の実施

○役員・評議員改選時研修の実施。（理事会・評議員会）

- ・概説・社会福祉協議会活動の作成・配布・説明

○役員研修の実施。

- ・期 日：11月17日（木）～18日（金）
- ・研修先：社会福祉法人四万十市社会福祉協議会
- ・内 容：地域福祉活動計画の推進と組織体制について
生活支援体制整備事業への取り組みについて
あったかふれあいセンターの見学
- ・参加者：理事・監事・職員（合計12名）

②理事会・監事会・評議員会充実・強化

○理事会の開催。（年8回）

- 第1回理事会 4月25日（月）10：00～10：20 福社会館1階（出席理事12名）
議案第1号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会役員及び評議員選任規程の一部を改正する規程について
- 第2回理事会 5月25日（水）10：00～11：45 福社会館1階（出席理事12名）
議案第1号 平成27年度社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会事業報告及び事業評価について
議案第2号 平成27年度社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会決算及び監査報告について
議案第3号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会評議員の選任について
- 第3回理事会 6月10日（金）9：55～10：50 福社会館1階（出席理事10名）
議案第1号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会会長及び副会長の選任について
協議第1号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会委員会委員の選考について
- 第4回理事会 7月25日（月）10：00～11：00 福社会館1階（出席理事11名）
議案第1号 平成28年度四国中央市社会福祉協議会第1次補正予算案について
- 第5回理事会 9月13日（火）10：30～11：40 福社会館1階（出席理事10名）
議案第1号 第13回四国中央市社会福祉大会について
報告第1号 平成28年度四国中央市社会福祉協議会全戸会員制納入状況について
- 第6回理事会 1月10日（火）9：30～11：20 福社会館1階（出席理事10名）
議案第1号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会定款変更について
議案第2号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営規程の制定及び同委員の選任について
議案第3号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会役員及び評議員選任規程の一部改正について
議案第4号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会役員、評議員の報酬等に関する規程の一部改正について
議案第5号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会処務規定の一部改正について
議案第6号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会委員会設置規程の一部改正について
議案第7号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会会員規程の一部改正について
議案第8号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会会長専決規程の一部改正について
議案第9号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会福祉基金規程の一部改正について
議案第10号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会給与規程の一部改正につ

- いて
- 第7回理事会 1月31日(火)9:35~10:10 福社会館3階(出席理事11名)
 議案第1号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会評議員の推薦について
 議案第2号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会就業規則の一部改正について
 議案第3号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正について
 議案第4号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会パートタイム職員就業規則の一部改正について
- 第8回理事会 3月29日(水)10:00~12:10 福社会館1階(出席理事11名)
 議案第1号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会処務規程の一部改正について
 議案第2号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会給与規程の一部改正について
 議案第3号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
 議案第4号 平成28年度四国中央市社会福祉協議会第2次補正予算案について
 議案第5号 第3次四国中央市地域福祉活動計画案について
 議案第6号 平成29年度四国中央市社会福祉協議会事業計画案について
 議案第7号 平成29年度四国中央市社会福祉協議会当初予算案について
- 監事会の開催。(年1回)
 第1回監事会 5月16日(月)9:30~ 福社会館1階(出席監事3名)
 内 容 平成27年度四国中央市社会福祉協議会事業及び会計監査
- 評議員会の開催。(年6回)
 第1回評議員会 4月25日(火)13:30~14:00 保健センター1階(出席評議員27名)
 議案第1号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会役員及び評議員選任規程の一部改正について
- 第2回評議員会 5月25日(水)13:30~14:50 保健センター1階(出席評議員27名)
 議案第1号 平成27年度社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会事業報告について
 議案第2号 平成27年度社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会決算及び監査報告について
- 第3回評議員会 6月1日(水)10:00~10:25 福社会館4階(出席評議員23名)
 議案第1号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会理事及び監事の選任について
- 第4回評議員会 7月25日(月)13:30~14:00 福社会館3階(出席評議員24名)
 議案第1号 平成28年度四国中央市社会福祉協議会第1次補正予算案について
- 第5回評議員会 1月10日(火)13:30~15:00 福社会館3階(出席評議員23名)
 議案第1号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会定款変更について
 議案第2号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営規程の制定及び同委員の選任について
 議案第3号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会役員及び評議員選任規程の一部改正について
 議案第4号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会役員、評議員の報酬等に関する規程の一部改正について
 議案第5号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会福祉基金規程の一部改正について
- 第6回評議員会 3月29日(水)13:30~14:20 福社会館4階(出席評議員22名)
 議案第1号 平成28年度四国中央市社会福祉協議会第2次補正予算案について
 議案第2号 平成29年度四国中央市社会福祉協議会事業計画案について
 議案第3号 平成29年度四国中央市社会福祉協議会当初予算案について

- 報告第1号 第3次四国中央市地域福祉活動計画について
- 評議員選任・解任委員会の開催 2月28日(火)17:30~18:20 福社会館1階(出席委員4名)
- 議案第1号 社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会評議員の選任について

③事務局業務分担の整備

- 第3次地域福祉活動計画づくりにおいて、事務局一元化等、体制整備等について検討・協議を進めた。
- 職員の処遇改善及び専門性確保等に向けて、関連する諸規程の整備を行った。

④専門委員会等の充実・強化

- 総務・地域福祉委員会の開催。(4回)
- ・5月19日(木)10:00~福社会館1階
 - ①平成27年度社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会事業報告について
 - ②平成27年度社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会決算報告について
 - ・6月24日(金)16:00~保健センター1階
 - ①総務・地域福祉委員会委員長及び副委員長の選任について
 - ・7月19日(火)10:00~福社会館1階
 - ①総務・地域福祉委員会副委員長の選任について
 - ②平成28年度四国中央市社会福祉協議会第1次補正予算案について
 - ・3月23日(木)13:30~ 福社会館1階
 - ①社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会処務規程の一部改正について
 - ②社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会給与規程の一部改正について
 - ③社会福祉法人四国中央市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
 - ④平成28年度四国中央市社会福祉協議会第2次補正予算案について
 - ⑤平成29年度四国中央市社会福祉協議会事業計画案について
 - ⑥平成29年度四国中央市社会福祉協議会当初予算案について
- 在宅福祉委員会の開催。(3回)
- ・5月19日(木)13:30~ 福社会館1階
 - ①平成27年度在宅福祉課関係事業報告および決算について
 - ②平成27年度介護職員処遇改善加算に基づく一時金の支給について
 - ・6月24日(金)16:00~ 保健センター1階
 - ①在宅福祉委員会委員長及び副委員長の選任について
 - ・12月15日(木)10:30~ 福社会館1階
 - ①平成28年度在宅福祉課関係事業中間報告について
 - ②新宮地域を主に担当する居宅介護支援事業所の新設について
- まごころ銀行運営委員会の開催。(1回)
- ・2月27日(月)10:00~ 福社会館1階
 - ①まごころ銀行の運営状況について
 - ②その他

【5】-3 財源の確保

①社会福祉協議会会費の推進 【別紙5】

	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
目標額	23,541,000	23,312,000	23,624,000	23,662,000	23,803,000
実績額	26,000,300	26,194,900	25,960,800	26,972,030	27,132,900
目標達成率	110.4%	112.4%	109.9%	114.0%	114.0%
地区社協配分額	14,229,800	14,538,900	14,148,800	15,141,030	15,231,400

②まごころ銀行運動の推進

	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
預託実績額	4,237,412	10,079,453	4,118,845	5,677,645	6,920,805
(内)地区社協指定	1,393,136 (32.8%)	1,553,170 (15.4%)	1,321,282 (32.0%)	1,610,788 (28.3%)	1,724,677 (24.9%)

③補助金・委託金の確保

(円)

	種類	事業名等	H28年度	H27年度	H26年度	摘要	
県関係	県社協助成金	市町社協育成助成金	681,280	680,230	677,170		
	県社協委託金	生活福祉資金運営事業	1,623,165	1,556,915	2,278,295		
		日常生活自立支援事業	1,335,000	902,000	636,000		
市関係	市補助金	社協運営費補助金	72,959,000	72,754,000	72,754,000		
	市委託金	(下記の合計)	78,703,572	77,970,939	64,959,198		
	(内訳)		生活困窮者自立相談支援事業	14,500,000	14,500,000		
			点字・声の広報発行事業	400,000	400,000	400,000	
			介護予防教室	2,073,600	1,728,000	3,576,960	※1
			介護予防教新宮体操事業	0	0	498,960	※2
			介護者交流事業	1,080,000	1,080,000	1,080,000	
			独居高齢者ネットワーク事業	109,000	169,000		※3
			高齢者心配ごと相談事業	148,920	235,128		※4
			ボランティア市民活動センター	6,147,000	7,140,000	6,428,000	※5
			ファミリーサポートセンター	4,700,000	4,700,000	4,700,000	
			地域活動支援センター	23,820,000	23,820,000	24,100,000	
			生活支援体制整備事業	6,000,000			
			移動支援事業	736,670	870,450	1,015,511	※6
			身障ホームヘルプサービス	2,775,000	2,787,500	2,700,000	※7
			指定介護予防支援事業	2,016,300	2,255,400	2,182,020	※8
			要介護認定調査	1,332,000	1,402,980	1,353,132	※9
			障害者相談支援事業	4,820,400	8,820,400	8,840,800	
			土居老人憩いの家	6,085,589	6,058,692	6,052,320	
			高齢者生活支援ハウス	1,959,093	2,003,389	2,031,495	
市分担金 (内訳)		独居高齢者ネットワーク事業			169,000		
		高齢者心配ごと相談事業			245,408		

※1)提案方式／川之江、三島、土居、新宮 2)提案方式／新宮 3)市委託金へ変更
4)市委託金へ変更 5)指定管理 6)受託事業(障がい) 7)受託事業(障がい)
8)受託事業(介護) 9)受託事業(介護)

④共同募金配分金の活用

○共同募金運動の配分金については、老人、障害児・者、母子・父子、福祉育成・援助活動等地域福祉活動の推進のために活用した。

⑤指定管理者制度等の管理受託

○四国中央市からボランティア市民活動センターの指定管理を受けて事業実施した。

【5】－4 社協経営改善の推進

「第2次地域福祉活動計画」の推進と並行して、平成26年度から「社協発展強化・経営改善計画」を実施し、本年度においては「第3次地域福祉活動計画」の策定と合わせ、事業の重点化と事務局体制の整備、経営組織体制の確立、財源の確保に努めた。

(事業関係)

- 本年度より生活支援体制整備事業(市委託事業)を実施。
- 事業の重点化・改善等、第3次地域福祉活動計画の策定過程で協議を進めた。
- 地域活動支援センター再編の協議・研修及び就労継続支援B型の設置を検討した。
- 新宮地区の拠点と新規活動(茶れんじ)の支援及び市との交渉を進めた。

(組織・財務関係)

- 定款変更に伴い、理事定数14名から11名に変更、監事定数3名から2名に変更、評議員定数32名から25名に変更し、改選を行い組織運営の強化に努めた。
- 「評議員選任・解任委員会」を設置し、新評議員(任期:H29.4.1～)を選任した。

(社会福祉動向への対応)

- 改正社会福祉法への対応を進めた。(定款変更、諸規程の改編等)

【5】－5 第3次地域福祉活動計画(2017～2021年)の策定

地域の生活福祉課題の解決や住民ニーズに立脚した社協活動の充実・発展をめざし、次年度以降5年間の「福祉でまちづくり」についての目標や将来ビジョン・活動計画を策定した。

- 策定委員会(14名で構成)
 - ・年4回開催(6/24、11/29、1/31、3/29)
- プロジェクトチーム・コア会議の開催(年6回)
- 住民座談会の開催(20地区社協単位)
 - ・参加者416人
- 基本理念の設定「ささえあう 愛と福祉でまちづくり」
 - ・計画書本編・概要版/次年度印刷・発行